

「地域とともに歩む学校づくり」を目指して／黒川小学校コミュニティ・スクール

- 子供たちの目線で活動されているか？
- 子供の意見は反映できているか？  
会議には子どもが入っていないので、子ども会やあいさつ運動などのときに子どもに意見を聞いたりしています。また、イベントのときにアンケートを取って意見を取り入れたいと考えています。
- 子供たちの負担増はないのか？  
行事が以前よりも増えていることはないので、負担増はありません。
- 子供たちの活動結果は何になりますか？
- 実際の効果は？
- 学校の課題を地域と協働して解決できたのか？
- 子供たちの変化は？  
活動を通して、子どもたちと地域の大人たちとの関わりができてきていると思います。子どもたちのほうからも地域の人たちと係わるようになってきています。  
また、あいさつ運動を通じてあいさつの向上などの成果もみられます。
- 共通の目標をどのように設定しているのか？  
学校の教育方針に基づいて委員たちで決めていきました。
- 地域・学校の目標とは具体的には何か？  
3つの目標：ふるさと黒川を愛しふるさとを大切に子・思いやりをもち進んであいさつのできる子・夢や希望をもち自分の未来を切り拓いていく子
- 地域と学校の目標の共有はできたのか？  
共有して、3つの目標に沿った事業を実施しました。（レッツトライ！胎内検定・あいさつ運動・ようこそ先輩授業など）
- コミュニティ・スクールを一言でいうと？  
「学校の応援団」
- コミュニティ・スクールの構成員・委員選考基準は？  
黒小サポーターズや後援会などいろいろな組織の方々に委員になってもらっています。
- 地域とは区長さんとか役員のことでいいですか？  
地域の皆さんのこと。

- 構成員に片寄りはないのか？  
他のコミュニティ・スクールでやっているように、地域で活躍している人に入ってもらったりしてもいいかもしれません。
- PTA 等各団体の役割はどうなっているか？（重複事業）  
コミュニティ・スクールの連携先として、事業を一緒にやるなどしています。
- 黒川小後援会とサポーターズの違いは何ですか？  
後援会は学区内の世帯が加入して会費を集めて学校を支援する組織、サポーターズはさまざまな学校行事などにボランティアとして関わってサポートする人たちです。
- 親・おじいちゃん世代と子供たち。中間層は？
- 学校に余り関係のない地域の方も関わっているのですか？
- なぜ、子供が卒業しても関わっていただけるのか？ 関係ないとはならないのはなぜか？  
自分の子どもが卒業しても、黒川小学校が大事なので、コミュニティ・スクールに関わり続けている人もいます。子どもが出た学校・地域の子たちが行く学校がいい学校であってほしいという願いからだと思います。
- 子供が卒業後、PTA 含め活動から離れることが多いがどう対応するのか？  
コミュニティ・スクールやサポーターズという形で、関わりたい方がいつでも関わられるようにしています。
- 地域愛着はどのように育てるのか？  
人とのつきあいを通して一緒に何かを体験するようなことから、地域への愛着が出てくるのではないかと思います。
- 継続性をもたせるためにはどうしたらよいか？  
無理せず気楽にやること。学校行事などに地域の人たちに気楽に来てもらい、応援してもらうことが大切だと思います。